

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（中学校用）

都道府県 宮崎県

I 学校の概要

フロンティアスクール名：高城町立高城中学校						
	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	1	10	20名
生徒数	100	112	100	1	313	

II 研究の概要

1. 研究主題

主体的に学力向上に努める生徒の育成
～個に応じた指導法の工夫を通して～

2. 内容と方法

(1)実施学年・教科

- ・全学年・全教科…小テスト・単元テストの実施
各教科における、知識・技能の定着を図るため。
各教科における基礎・基本を精選し学力向上への意識を高めるため。
- ・1、2学年・数学科
小学校が研究対象としている算数科と連携を図るため。

(2)年次ごとの計画

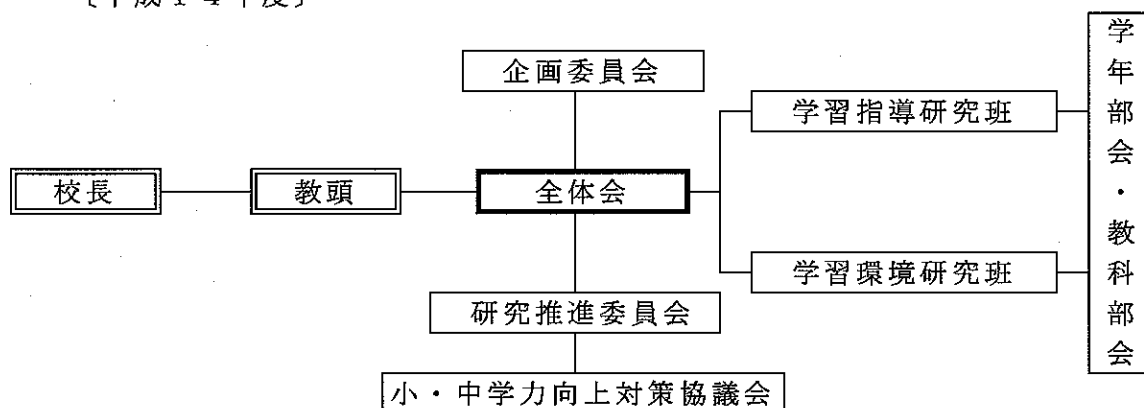
平成 14 年 度	○テーマ 自ら学ぶ意欲を持ち、生き生きと学習する生徒の育成
	○仮説 学習指導の場において、基礎・基本の定着や学習指導法の改善を図る工夫を行えば、自ら学ぶ意欲を持ち、生き生きと学習する生徒を育成することができるであろう。
	○研究内容・方法 ・実態把握のためのアンケート作成と実施 ・学習環境の整備（「学習の心得」・各教科における掲示物の作成） ・「基礎・基本」の定着を図る学習指導法の研究（小テスト等の実施） ・数学科における少人数指導の実施

平成 15 年 度	○テーマ 主体的に学力向上に努める生徒の育成
	○仮説 学習指導の場において、個に応じた指導法の工夫・改善を行えば、生徒一人一人は自らの適性を把握し、将来に向けて自ら学び、意欲的に学びの幅を広げようとする力を育成することができるであろう。
	○研究内容・方法 ・少人数指導の学習過程の在り方の見直し（小学校との連携強化） ・家庭学習の習慣化（家庭学習マニュアル作成） ・教材開発（「基礎・基本」の定着を図るためのプリント作成） ・選択教科の内容工夫（異教科間のTT学習） ・小・中連携の工夫 ・中・高連携の工夫

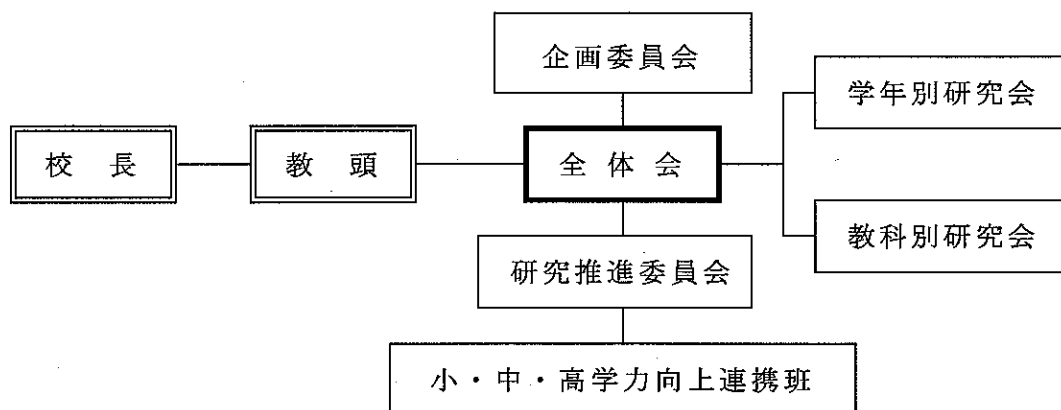
平成 16 年度	○テーマ 主体的に学力向上に努める生徒の育成
	○仮説 学習指導の場において、個に応じた指導法の工夫・改善を行えば、生徒一人一人は自らの適性を把握し、将来に向けて自ら学び、意欲的に学びの幅を広げようとする力を育成することができるであろう。
	○研究内容・方法 ・補習時間の内容工夫（朝ドリル・朝読書・CT学習） ・単元テストの導入 ・小・中連携の強化（合同授業・交流学习・共通実践） ・中・高連携の強化 ・研究のまとめ

(3) 研究推進体制

[平成14年度]



[平成15年度]



平成14年度の反省から、学年・各教科における共通理解・実践の時間の確保をし、学習環境・学習指導について円滑に実施するため、平成15年度は学年別研究会及び教科別研究会に編成し直した。また、小中高の連携を図るために、小中・高学力向上連携班を設置した。

○学年…朝学習（ドリルタイム・セミナー、朝読書）、CT学習

○各教科…教材開発（朝ドリル、CT学習、ワークシートの作成）

教科掲示板の工夫（年間計画に基づいた定期的な作成、張り替え）

家庭学習の進め方作成

年間計画の見直し（問題解決的な学習の位置づけ）

Ⅲ 平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- 昨年度、積み残しになった事項に学年や各教科で取り組むことができた。
- 地区20校中の学力レベルが中・下位から、上・中位へと改善されてきている。
- 数学・英語は、特に（県下でも）上位20%以内の学力である。
- 同学年内では、教科担による成果に差が出ている。
- 教師が学習成果について自校のみでなく他校との比較も重視するようになった。

2. 今後の課題

- 小中高の連携を具体的に進めていく上で、本年度より具体的な組織づくりが必要である。
- 小学校と連携して教育課程（年間計画）を工夫していく必要がある。
- 朝ドリルやCT学習の内容について、生徒が意欲的に取り組めるような工夫が必要である。
- 生徒間にも個人差があるため、下位グループの基礎・基本の定着の時間の確保が必要である。
- 成果が中位の学内生徒に表れているが、上位の生徒の伸びが足りない。原因の究明と改善への方策が必要である。
- 成果は生徒の問題ではなく、指導者の問題であると職員が気づき意識する必要がある。
- 研究内容の焦点化を行い、研究推進の充実が必要となっている。

Ⅳ. 学力把握のための学校の取組について

◎定期的な学力調査の実施（年3回実施）

- 定期的に学力調査を行うことによって、生徒の学習状況を把握するとともに、教師の指導法の改善に活用する。
- 5教科（範囲は学習状況に対応する。）
- 学期始め（第1週目）

Ⅴ. フロンティアスクールとしての成果の普及について

- 平成15年度のPTA総会で説明会の開催
- 平成15年度、HPによる研究経過・実績報告開設予定
- 小・中連携を図った、地域の学校への情報提供の実施
- 小・中連携を図った、地域の学校との合同研修会の開催（高等学校も含む）

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|---|--|--|---|
| 【新規校・継続校】 | <input type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input type="checkbox"/> 3学級以下 | <input type="checkbox"/> 4～6学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 7～9学級 | <input checked="" type="checkbox"/> 10～12学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 13～15学級 | <input type="checkbox"/> 16学級以上 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導 | | |
| | <input type="checkbox"/> その他 | | | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語 | <input checked="" type="checkbox"/> 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 数学 | <input checked="" type="checkbox"/> 理科 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 外国語 | <input checked="" type="checkbox"/> 音楽 | <input checked="" type="checkbox"/> 美術 | <input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 保健体育 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 | | |